

令和8年度 江戸川区立西葛西中学校 学校関係者評価報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともに健康でたくましくがんばりぬく生徒</li> <li>よく学び考えて実践する生徒</li> <li>規律を守り責任を果たす生徒</li> <li>思いやりがあり社会に貢献できる生徒</li> </ul>	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	<学校>安心して登校でき(いじめなし)、満足して下校できる学校(成就感・達成感あり) <生徒>何事にも力を出し惜しみしない生徒 <教師>エビデンスに基づき、「変えるべきこと」と「変えてはいけないこと」を見極め、新しい教育活動に一步踏み出す教師
前年度までの本校の現状	成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>教員のICT活用能力向上の研修を年3回実施し、授業でタブレットを活用できる教員の増加。</li> <li>ICT機器の活用による校務のペーパーレス化を進めることができた。</li> </ul>	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力・体力の向上。</li> <li>不登校生徒を生まない、不登校生徒の人数を減少させる。</li> </ul>

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己(学校)評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学力の向上	○基礎学力の定着	国語・数学・英語・社会・理科の単元テスト・小テストの実施	合格点を決めて繰り返しテストを行い80%以上の生徒を合格させる。年間6回以上の実施。					
	○教員の指導力向上	校外の研修への参加	都の専門研修や大学等の研修に4割以上参加。					
	○読書科の更なる充実	①よむYOMUワークシートの実施 ②図書館を活用した探究的な学習	①年間35回の実施し、国語科の授業で学期に1度以上解説。 ②教科・学年で年1回以上の活用。					
体力の向上	○基礎体力の向上	体力テストの結果を分析し弱い項目を補強する。	毎回の体育の授業、部活動で補強運動を行う。					
	○運動意欲の向上	体を動かすことの楽しさや必要性を感じさせる。	毎日の昼休みの外遊びの推奨する。保健体育の授業で理論を理解させ、補強運動の実施する。					
実現に 向けた 教育の 推進	○特別支援教育の充実	教員間や校内委員会での情報共有、指導内容の確認	学期に1回、全教員で生徒情報の共有を行う。校内委員会を月2回行う。					
	○外国人生徒への対応の充実	ソフト面での配慮	学校だよりのルビをつける。定期考査のルビふりを行う。					
不登校・いじめ 対応の 充実	○不登校生徒への対応の充実	不登校生徒へのコンタクト強化し、オンライン授業の実施	つながりのない生徒ゼロ。月4回以上の連絡や家庭訪問を行う。					
	○いじめゼロ	①早期発見・対応。保護者との連携。 ②委員会活動による告知。	①年3回のアンケートの実施と年3回の二者面談・三者面談の実施。 ②生徒会を中心とした告知活動。					
	○Hyper-QUの活用	Q-Uによる生徒の実態把握とそれに基づいた指導	年に1回校内でQU研修会を実施					

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	自己(学校)評価		学校関係者評価		次年度に向けた改善案
				評語	コメント	評語	コメント	
学校(園)の 地域社会に 開かれた の実現	○情報発信の充実	学校ホームページ、各種便りの充実	学校ホームページを毎日更新する。月1回以上の学校だより発行。					
	○学校関係者評価の充実	生徒への授業アンケート、保護者・地域への教育活動に関するアンケート	2学期に実施。改善策の告知。					
教育の 特色ある 展開	○地域貢献	地域行事へのボランティア参加	ボランティア生徒の地域活動への参加。吹奏楽部による地域行事での演奏(年3回以上)					
	○伝統の継承	①3年生から1年生への伝達 ②3年生から2年生への伝達	①あいさつ、校歌の指導を4回(4月) ②ソーラン節の指導2回以上(3学期)					